

# 交運労協 FAX ニュース NO. 22

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2016年6月3日  
TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570 発行人 高松 伸幸  
交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

## 【第22回交通政策研究集会開催】

### 安心・安全で持続可能な総合交通体系 と魅力ある交通運輸産業の確立！

5月26日～27日、千葉県鴨川市において第22回交通運輸政策研究集会を開催し、全国から各構成組織役員及び地方・県交運労協代表者など合計160名が参加した。当日は、JR外房線で発生した踏切り内での事故の影響で参加者の約半数以上及び第1講演の講師を予定していた交運労協の顧問である戸崎肇大妻女子大学教授が開始予定時間には間に合わない事態となり、第1講演を取りやめ、15時から開始した。



集会は松谷事務局次長の司会で始まり、本年1月15日に発生した「軽井沢スキーバス事故」ならびに4月に九州各地で甚大な被害をもたらした「熊本地震」でお亡くなりになった方々に哀悼の意を表し黙祷をささげたのちに、主催者を代表して住野議長が挨拶を行った。続いて、高松事務局長から本集会での討

論すべき問題提起を行った後、国土交通省自動車局安全政策課課長補佐の高橋信博氏より「安全な交通体系の確立について」と題して講演を受けた。

二日目は、千葉県南房総市役所総務部企画財政課副主幹（国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスター）である畷田紀之氏より「地域公共交通網形成計画の必要性について」と題し講演を受けた。講演内容はとても熱意が伝わわり、今後の地方公共交通網計画の策定に当たり各地方での交運労協としての取組の一助になるものと確信できる。その後、昨日の問題提起並びにふたつの講演

を踏まえ、全体討論を行い、各参加者よりライドシェアへの対応、モードを越えたチーム公共交通に向けて、安全対策、交運労協の活動について多くの参加者より発言がなされ、住野議長、高松事務局長が見解を述べた。

また、昨日より会場内にて行った「熊本地震」に対する支援カンパ及び

寄せ書きを住野議長より九州地方交運労協の越智事務局長に手渡した。

最後に、武井政策委員長が集会のまとめと閉会挨拶を行い、住野議長の団結ガンバロウで集会は成功裏に終了した。

なお、詳細は、報告集を作成し『政策資料』として発行する。



## **【会場内での熊本地震支援カンパを実施】**

**85,305円集まる！**

**皆様のご協力に感謝申し上げます！**

**ありがとうございました！**

以 上